

## 件 名

---

埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関する対応（学校の状況調査、他県調査）状況について

## 提出理由

---

埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関する対応（学校の状況調査、他県調査）状況について、別紙のとおり報告します。

## 概 要

---

- 1 学校の状況調査
- 2 他県調査

# 1 学校の状況調査

## 目的

埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告への対応を検討する際の参考とするため

## 対象

- ア 男子校 5 校 春日部、川越、松山、浦和、熊谷
- イ 女子校 7 校 春日部女子、久喜、川越女子、松山女子、浦和第一女子、熊谷女子、鴻巣女子
- ウ 男女共学校 1 1 校 春日部東、久喜北陽、越谷北、川越南、坂戸、所沢北、浦和西、大宮、蕨、熊谷西、鴻巣  
男女別学校 1 2 校の近隣に所在している、在校生の居住地が重なる、進路状況が重なる  
という観点で選出

## 目指す学校像（令和6年度）

### 男子校

春日部	校訓「質実剛健」、教育方針「文武両道」を実践し、広く社会で活躍できるリーダーを育てる進学校
川越	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
松山	建学以来の伝統である「文武不岐」を実践し、良き伝統と校風を継承・発展させ、生徒一人一人のもつ資質や能力の十分な伸長を図り、質の高い授業や探究活動、大学・研究機関等と連携した学習活動等をとおして、幅広い教養と礼節を備え、グローバル社会の中でリーダーとして貢献できる品格ある人材を育成する。
浦和	尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成を目指す。
熊谷	日本と世界に貢献できる人材を育成する学校

### 女子校

春日部女子	高い志を持ち、夢をあきらめない生徒の育成を目指す、伝統ある女子の進学校
久喜	地域に貢献する伝統校として、豊かな人間性と教養、たくましさを備え、社会で活躍できる生徒を育てる。
川越女子	「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱に組織的教育活動を展開して進学実績の向上を図るとともに、生徒が主体的に学ぶ「質の高い授業」の創造に全力で取り組む学校
松山女子	社会で活躍する「凛として輝く」女性を育て、地域の期待に応える進学校
浦和第一女子	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
熊谷女子	自主自律の精神と豊かな人格を育み、新しい時代をリードする心身ともに健康な生徒を育成し、生徒の第一志望の進路実現を果たす進学校。
鴻巣女子	<p>(1) 自立した女性の育成：社会人としての適切なマナーを身につけ、多様な科目を学び、自己実現を図る行動的な女性を育てる。</p> <p>(2) スペシャリストの育成：専門的な知識・技術を身につけ、高度な資格取得を目指し、家庭に関する専門分野で活躍できるスペシャリストを育てる。</p>

## 男女共学校

春日部東	文武両道を具現化した地域に誇れる進学校として、生きる力を備えた未来の創り手たる人材を育てる
久喜北陽	進学型総合学科の特長を生かし、「誠実」で何事にも主体的に「真剣勝負」でチャレンジする、これからの時代を生き抜く力をもった人材を育成する学校
越谷北	高い理想と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーを育成する。
川越南	文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校
坂戸	文武に秀で、地域に愛され、国際感覚を持つ社会のリーダーを育てる学校
所沢北	たくましい知性としなやかな感性を備え、高い倫理観とグローバルな視野を持って、地域や社会の持続的発展に貢献しようという高い志を有するリーダーを育成する。
浦和西	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校。
大宮	勉強と部活動等の両立の実践と自主自律の精神の涵養により、高い志と強い使命感を持った未来を創るトップリーダーを育てる学校
蕨	生徒の進路希望を実現する文武両道の進学校　～グローバルな視点を持ち次世代のリーダーとして活躍できる人を育てる～
熊谷西	生徒の力を最大限に伸ばす県北が誇る進学校
鴻巣	確かな学力と人間力を育成し、地域の期待に応える学校

## 学校行事

< 主な体育的・文化的行事 >

男女別学校について（各学校の特徴的な行事を掲載）

男子校	春日部	一万メートル走大会	渡良瀬遊水地 10 km
		大運動会	大運動会で腕相撲など
		SSH特別講義	大学他 13 講座
		SSHフィールドワーク	7 コース
		生徒課題研究発表会	1、2 年生全体
		サイエンス教室	小・中学生のためのサイエンス教室 I N 春日部高校
	川越	強歩大会	26 . 8 Km
		科学に関する発表や講演	「川高サイエンス探究」、「生徒研究発表会」 （演題「グラフを使って思考力を高める ～ A I と共生する社会の展望」（大学院情報理工学系研究科教授）
	松山	比企一周駅伝	60 km、15 区間
	浦和	スポーツ大会	クラス対抗、年間で実施、サッカー、ラグビー、バスケット、バレー、水泳、綱引き、駅伝等
		臨海学校	泳力により 1 ~ 2 km 泳ぐ
		強歩大会	学校から古河まで約 50 km
		文化大会	クラス対抗、年間で実施、将棋、クイズ、百人一首、弁論、漢字
	熊谷	40 キロハイク	
		臨海学校	泳力に応じて 8 段階にレベル分けし、湾内をどれだけ泳ぐか調整
百人一首大会			

女子校	春日部女子	持久走大会	1 3 k m
		サンフラワーカップ	英語のディベート大会
	久喜	体育祭	旗体操など
		発表会	創作ダンスの発表会
	川越女子	体育祭	台風の日、追いかけて玉入れ、メタモルフォーゼ、応援合戦など
	松山女子	マラソン大会	1 0 k m
	浦和第一女子	体育祭	応援合戦、仮装行列等
		総合的な探究の時間	グローバルリーダー育成のため、各種講演や国際交流、関連したプレゼン力向上などの学習機会を実施 SSH全校講演会（大学院工学系研究学科長）、さくらサイエンス事業（大学卓越教授等）
		全校討論会	年 2 回
	熊谷女子	体育祭	ダンスパフォーマンスなど
鴻巣女子	球技大会	1 回目：ドッジボール 2 回目：サッカー、バレーボール	
	文化祭	家政科学科「ファッションショー」、保育科「こどものくに」	

男女共学校について（男女で行事における種目の内容が異なる学校を掲載）

男女共学校	春日部東	体育祭	男子	男子のみ100mハードル走、400m走、スウェーデンリレーが行われる（男子の在籍比率が多いので、出場機会を確保するため。）。
	久喜北陽	体育祭	男子	騎馬戦
		球技大会	女子	棒取り
	越谷北	強歩大会	男子	ソフトボール
			女子	ドッジボール
		ダンス発表会	男子	15km
	川越南	体育祭	女子	11km
			男子	体育の授業の一環
	坂戸	ロードレース大会	男子	綱取り
			女子	タイヤ取り
体育祭		男子	11km	
所沢北	球技大会	女子	8km	
		男子	100m、200m、1,500m、800mリレー、騎馬戦	
所沢北	球技大会	女子	100m、150m、1,000m、400mリレー、綱取り	
		男子	バスケットボール、ソフトボール	
所沢北	球技大会	女子	バスケットボール、ハンドボール	
所沢北	球技大会	男子	バスケットボール、ハンドボール	
所沢北	球技大会	男子	剣道、ラグビー	
所沢北	球技大会	女子	バレーボール	

男女共学校	浦和西	球技大会	男子	サッカー
	蕨	運動会	女子	卓球
			男子	リレー200m×4人
		女子	リレー100m×4人	
	蕨	強歩大会	男子	18km
			女子	14km
	鴻巣	球技大会	男子	サッカー、バスケットボール
女子			ドッジボール、バレーボール	
鴻巣	校内マラソン大会	男子	約12km	
		女子	約11km	

（男女で行事における種目が同様となっている学校を掲載）

男女共学校	熊谷西	球技大会	男女共通	サッカー、ドッジビー、バレーボール、バドミントン、卓球
		持久走大会	男女共通	シリアスラン8km ファンラン5kmの2部門 本人の希望により参加部門を決定
		体育祭	男女共通	長縄跳び、綱引き、リレーなど
	大宮	体育祭	男女共通	全競技男女共通 100m走は男女別を実施
		スポーツ大会 (年2回)	男女共通	全競技男女共通 実施は男女別

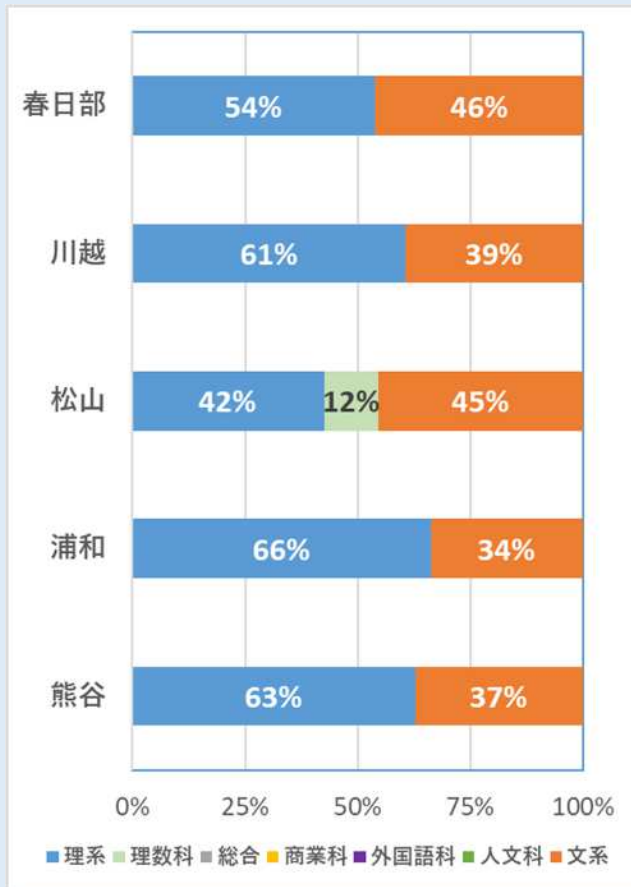
< 主な進路講演会行事 >

男子校	春日部	「大学での先端研究と理系英語」(大学名誉教授)
	川越	「医学、医療の道を選ぶということ」(大学学長)
	松山	「夢を追い続けるための原動力～私を助けてくれた素因数分解の力～」(大学教授)
	浦和	「麗和セミナー」(社会人卒業生によるセミナー)
	熊谷	「本物に学ぶ(大学、基幹病院と連携した教養講座、英語による講演会含む)」(民間企業講師) 「つくばサイエンスツアー」
女子校	春日部女子	地方国立大学の魅力(大学准教授)
	川越女子	「海の生物を研究する道を歩む～共生系の世界～」(大学助教)
	浦和第一女子	麗風セミナー(社会人卒業生) 分野別/大学別 Gとの懇談会(卒業生(大学生約60名)+3月卒業生を招いての懇談会) 東京大学見学会
	熊谷女子	「人の学習とAIの学習」大学教授、卒業生の進路講演会(新聞記者・大学教授)
	鴻巣女子	プロフェッショナルに学ぶ <保育科> リトミック(音楽に合わせた手遊びの指導)(研究所講師)、折り紙教室(工房講師) <家政科学科> ウォーキング指導(民間企業講師)、和服着付指導(和裁教室講師)、調理指導(専門学校講師)
男女共学校	越谷北	進路講演会(大学教授等) SSH講演会「身近な現象に見られる数理と物理」(大学職員)など 大学見学会(東京大学、一橋大学、東北大学、東京工業大学、筑波大学、東京外国語大学等) など
	川越南	「未来の扉を開く魔法」(上級マーケティング解析士)
	浦和西	「自分らしく最高に楽しい人生を送るために」(生命保険会社職員)
	大宮	「夢・働く」(会社社長、大学教授)
	蕨	「看護師という仕事について」(医療センター看護部長、救急センター看護師) 「アートの仕事」(アートセンター学芸員)
	熊谷西	地方国立大学の魅力(大学准教授) 生き方って多様だ～選択肢を知る・つくるヒント～(本校卒業生)
鴻巣	金融教育：正しい金融知識と金融トラブルの防止(銀行職員) ニュースリテラシー：ニュース・リテラシー出前授業「情報の渦の中をどう泳ぐか～新聞から学ぶ見極め方と伝え方」(新聞社職員)	

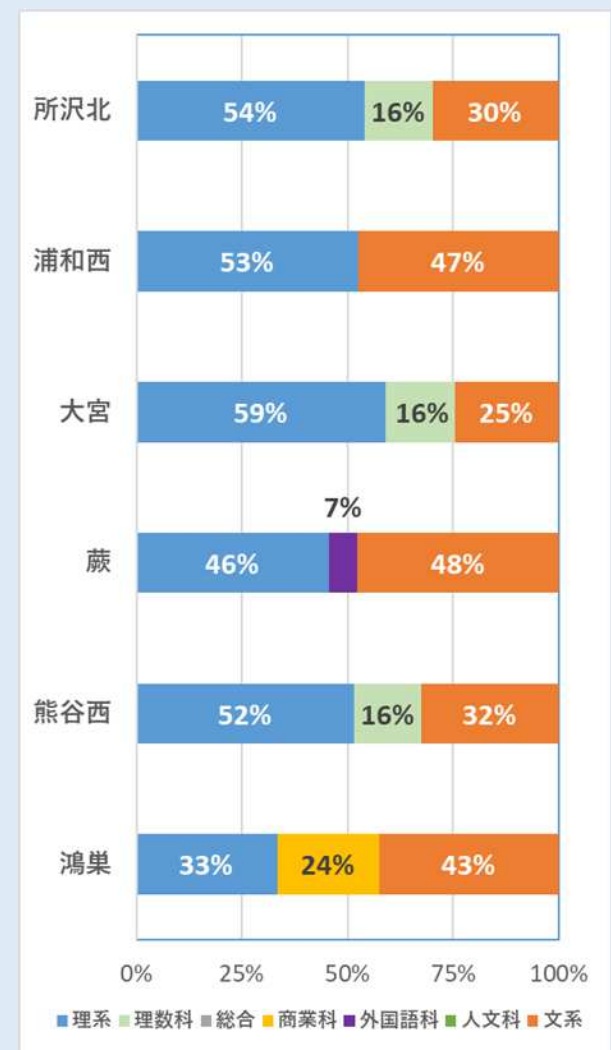
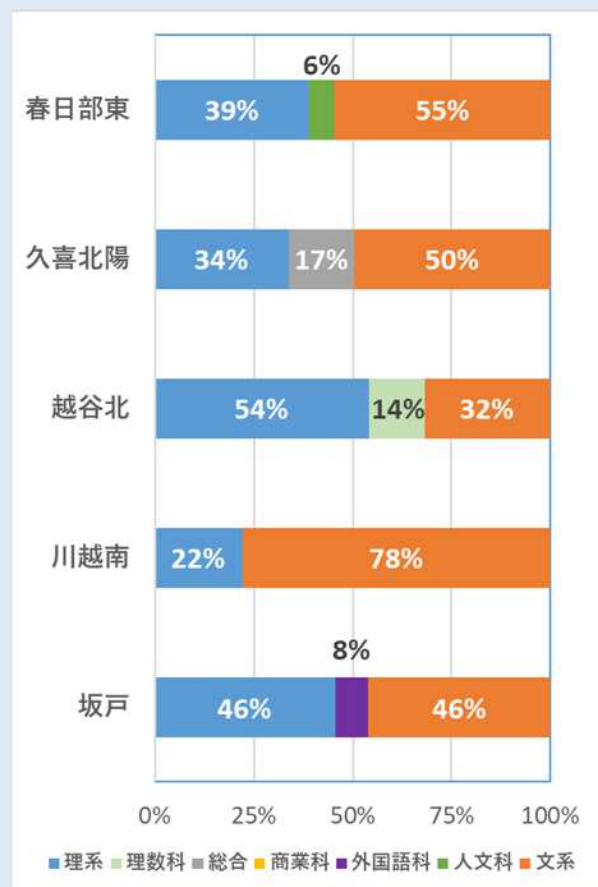


## 高校在籍時における理系・文系等選択（令和4年度）

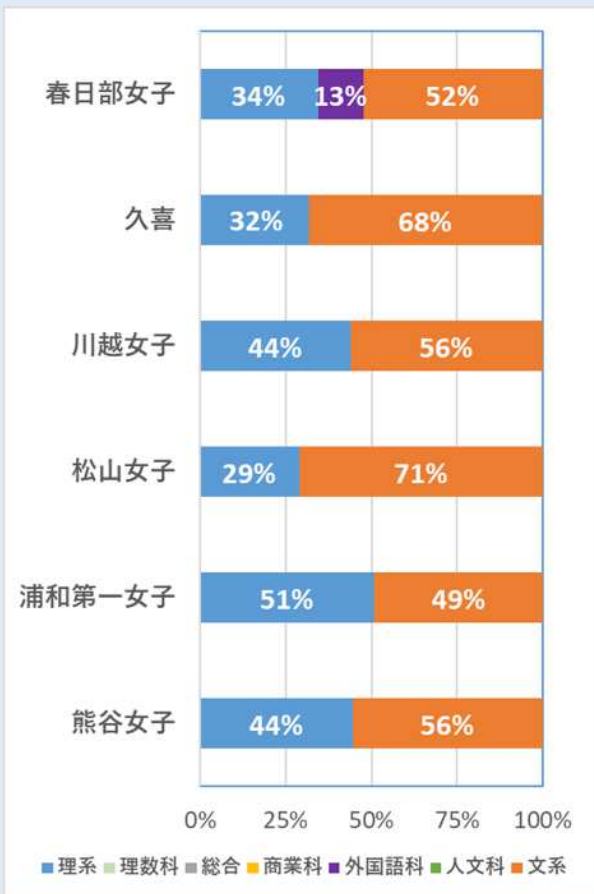
### 【男子校】



### 【男女共学校（男子）】

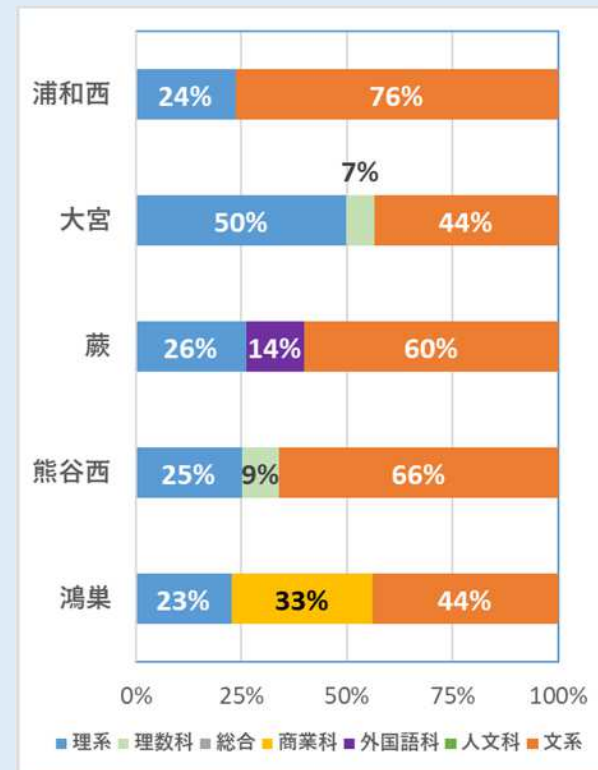
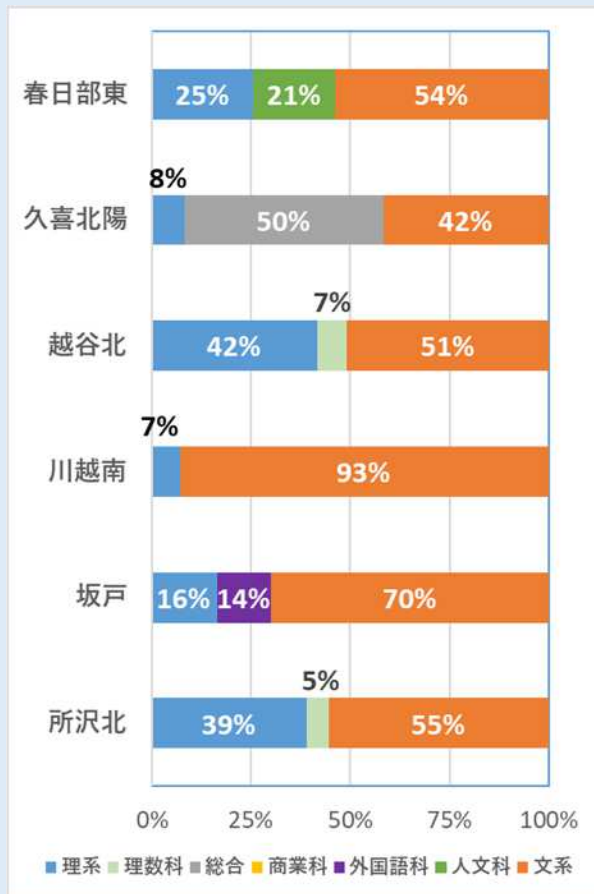


### 【女子校】



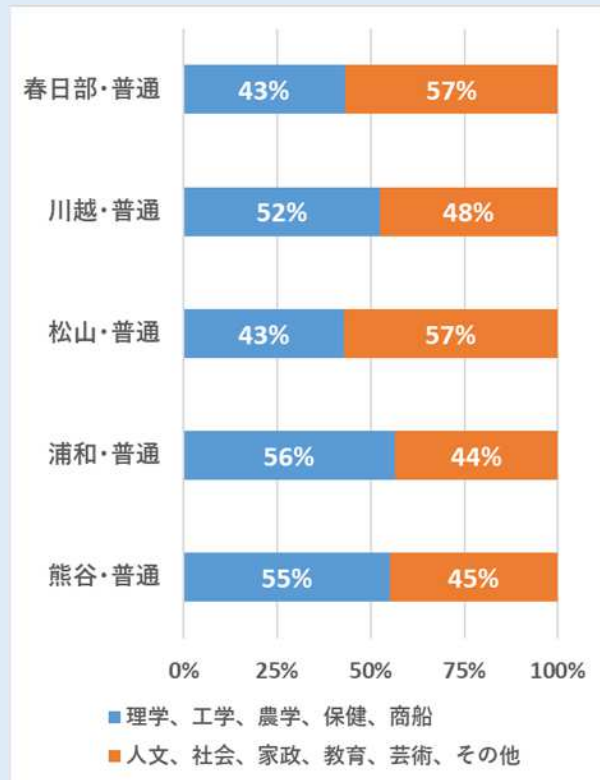
鴻巣女子は文系・理系の区別なし

### 【男女共学校（女子）】

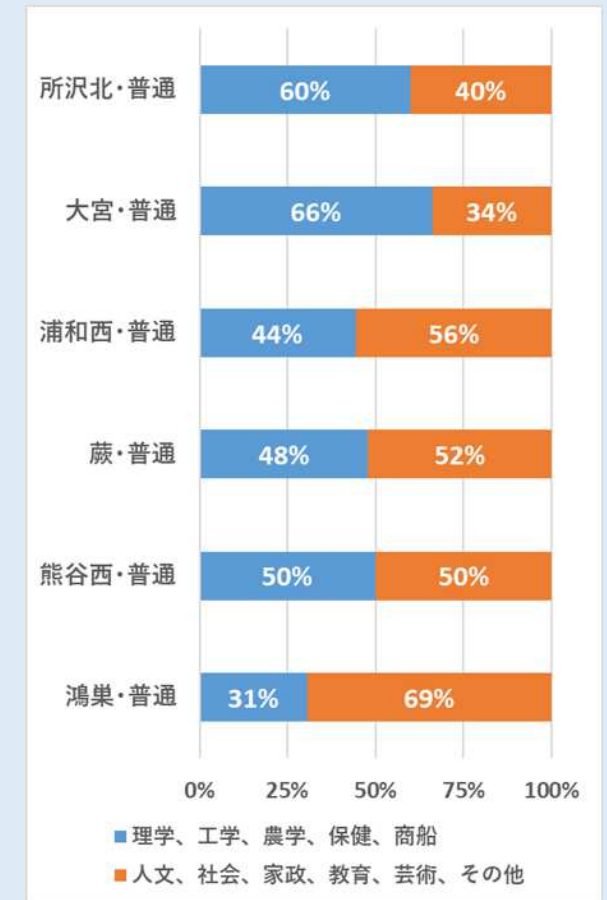
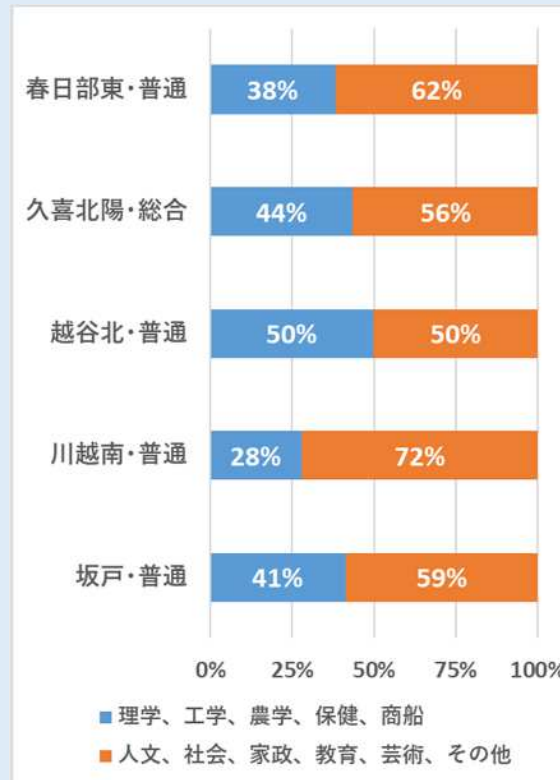


# 大学学部別進路（令和4年度）

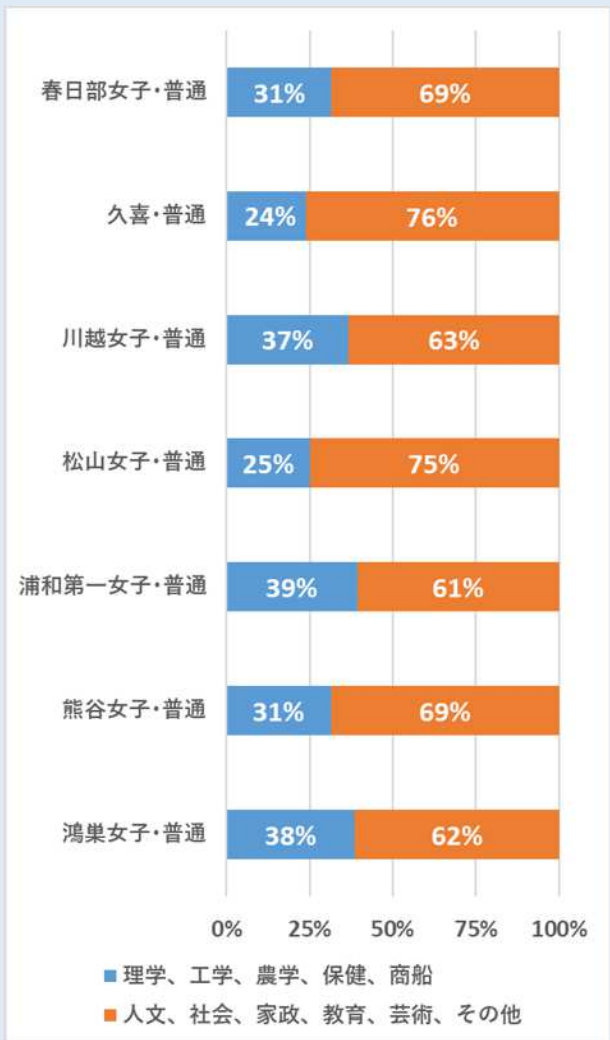
## 【男子校】



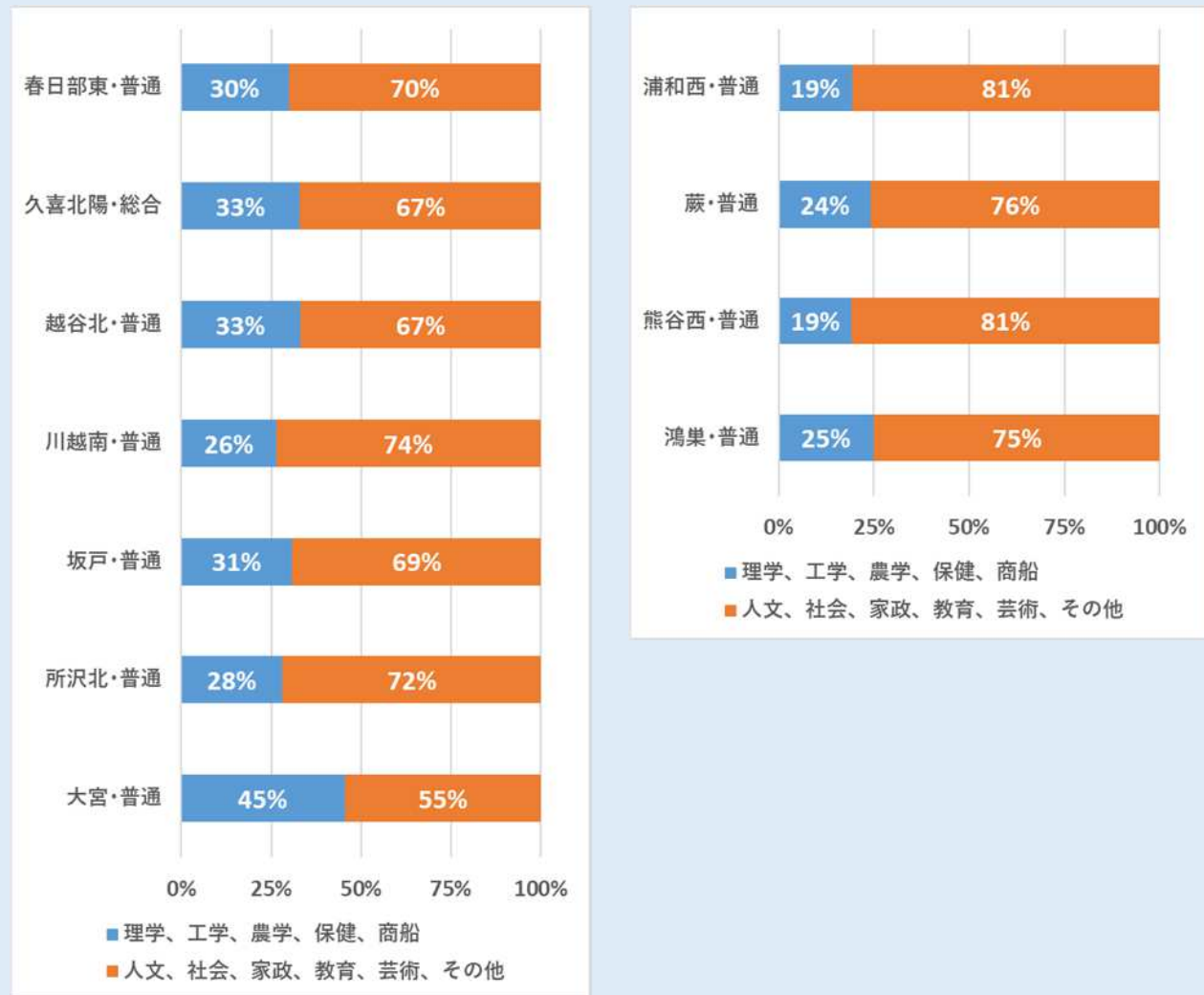
## 【男女共学校（男子）】



### 【女子校】



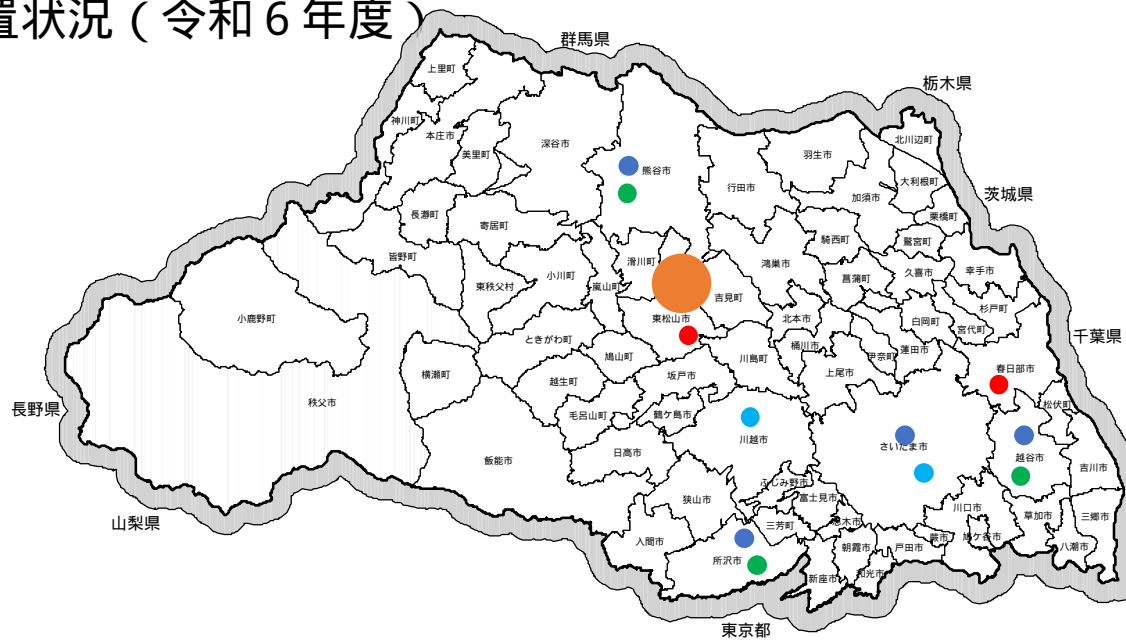
### 【男女共学校（女子）】



## 男女共学校における生徒会等の主要役員の男女別数（令和5年度）

学校名 男女別在籍生徒数		生徒会		委員会		部活動（男女混合部）	
		会長	副会長	委員長	副委員長	部長	副部長
春日部東	男子：726人 女子：331人	男子：1人 女子：0人	男子：1人 女子：1人	男子：10人 女子：1人	男子：18人 女子：4人	男子：17人 女子：8人	男子：16人 女子：9人
久喜北陽	男子：541人 女子：381人	男子：2人 女子：0人	男子：1人 女子：3人	男子：8人 女子：2人	男子：4人 女子：9人	男子：15人 女子：20人	男子：13人 女子：20人
越谷北	男子：495人 女子：583人	男子：1人 女子：0人	男子：1人 女子：1人	男子：5人 女子：6人	男子：9人 女子：10人	男子：8人 女子：11人	男子：9人 女子：13人
川越南	男子：396人 女子：665人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：1人	男子：5人 女子：6人	男子：13人 女子：9人	男子：6人 女子：6人	男子：6人 女子：11人
坂戸	男子：530人 女子：526人	男子：1人 女子：1人	男子：1人 女子：3人	男子：8人 女子：5人	男子：13人 女子：13人	男子：6人 女子：17人	男子：10人 女子：19人
所沢北	男子：592人 女子：475人	男子：2人 女子：0人	男子：2人 女子：0人	男子：7人 女子：5人	男子：11人 女子：13人	男子：24人 女子：15人	男子：20人 女子：28人
浦和西	男子：506人 女子：567人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：1人	男子：7人 女子：6人	男子：4人 女子：11人	男子：5人 女子：6人	男子：6人 女子：3人
大宮	男子：565人 女子：500人	男子：1人 女子：0人	男子：0人 女子：1人	男子：7人 女子：8人	男子：10人 女子：12人	男子：15人 女子：14人	男子：19人 女子：25人
蕨	男子：492人 女子：578人	男子：0人 女子：1人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：4人	男子：3人 女子：4人	男子：11人 女子：16人	男子：11人 女子：17人
熊谷西	男子：436人 女子：468人	男子：1人 女子：1人	男子：1人 女子：1人	男子：5人 女子：5人	男子：5人 女子：5人	男子：17人 女子：21人	男子：11人 女子：21人
鴻巣	男子：391人 女子：424人	男子：1人 女子：1人	男子：2人 女子：2人	男子：6人 女子：2人	男子：7人 女子：8人	男子：23人 女子：17人	男子：22人 女子：34人
合計	男子：5,670人(51%) 女子：5,498人(49%)	男子：10人(56%) 女子：8人(44%)	男子：15人(48%) 女子：16人(52%)	男子：71人(59%) 女子：50人(41%)	男子：97人(50%) 女子：98人(50%)	男子：147人(49%) 女子：151人(51%)	男子：143人(42%) 女子：200人(58%)

## 理数科等の設置状況（令和6年度）



### < 理数科 >

#### 【男子校】

松山高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 1 1 7 人

#### 【共学校】

越谷北高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 6 4 人 女子 5 5 人

所沢北高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 7 9 人 女子 3 9 人

大宮高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 7 7 人 女子 4 3 人

熊谷西高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 7 6 人 女子 4 1 人

「理数に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の理数科目（理数数学、理数数学、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数生物など）や理数に関する学校設定科目を取り入れて教育課程を編成し、普通科における数学、理科よりも、重点的、専門的に学びが深められるようになっている。

### < SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校（文部科学省指定） >

【男子校】春日部高校、松山高校

【女子校】川越女子高校、浦和第一女子高校

【共学校】越谷北高校、所沢北高校、熊谷西高校

# 外国語科等の設置状況（令和6年度）



## < 外国語科 >

### 【女子校】

春日部女子高校	1 学年 1 クラス	生徒数	女子	119 人
---------	------------	-----	----	-------

### 【共学校】

越谷南高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	41 人	女子	76 人
坂戸高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	47 人	女子	75 人
草加南高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	36 人	女子	81 人
南稜高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	17 人	女子	103 人
和光国際高校	1 学年 2 クラス	生徒数	男子	59 人	女子	177 人
蕨高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	33 人	女子	88 人

## < 国際教養科 >

### 【共学校】

秩父・皆野新校（令和8年度開校予定）

## < 国際文化科 >

### 【共学校】

岩槻高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	20 人	女子	91 人
------	------------	-----	----	------	----	------

## < 普通科外国語コース >

### 【共学校】

大宮光陵高校	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	40 人	女子	73 人
--------	------------	-----	----	------	----	------

「外国語に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の英語科目（総合英語 ～、ディベート・ディスカッション ～）や英語及び国際理解に関する学校設定科目、更には英語以外の言語（ドイツ語、フランス語、中国語等）を取り入れて教育課程を編成し、普通科よりも幅広く深い語学に関する学びや、国際理解・国際関係の学びに取り組みめるようになっている。

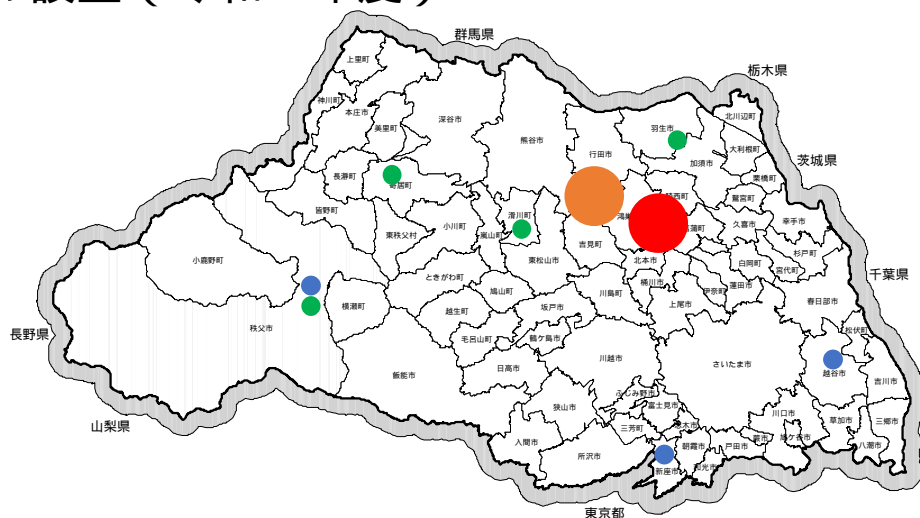
「国際に関する学科」でも、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の英語科目や、語学や国際理解、更には、自国の伝統や文化に関する学校設定科目等を取り入れて教育課程を編成し、グローバルな視点から世界のこと、あるいは、世界の中の自国について学びを深めることができるようになっている。

## < SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校（文部科学省指定） >

- 【共学校】 不動岡高校
- 【男子校】 浦和高校
- 【女子校】 浦和第一女子高校

SGHは令和2年度まで文部科学省が実施していた事業

## 家庭に関する学科等の設置（令和6年度）



### <家庭に関する学科>

#### 【女子校】

鴻巣女子高校	家政科学科	1学年1クラス	生徒数	女子	106人
	保育科	1学年1クラス	生徒数	女子	88人

#### 【共学校】

越谷総合技術高校	服飾デザイン科	1学年1クラス	生徒数	男子	1人	女子	87人
	食物調理科	1学年1クラス	生徒数	男子	44人	女子	58人
新座総合技術高校	服飾デザイン科	1学年1クラス	生徒数	男子	2人	女子	113人
	食物調理科	1学年1クラス	生徒数	男子	45人	女子	75人
秩父農工科学高校	ライフデザイン科	1学年1クラス	生徒数	男子	1人	女子	105人
	フードデザイン科	1学年1クラス	生徒数	男子	36人	女子	76人

「家庭に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の家庭科目（生活産業基礎、生活産業情報、保育基礎、保育実践、ファッション造形基礎、フードデザインなど）や家庭に関する学校設定科目を取り入れて教育課程を編成し、普通科よりも家庭に関する分野について重点的に学び、関連する職業に従事する上で必要な資質・能力を育むことを目指している。

### <教育課程に保育に関する科目を置いている学校>

#### 【女子校】

鴻巣女子高校	保育科（再掲）	1学年1クラス	生徒数	女子	88人（主な保育系科目	保育基礎	保育実践等	21単位）
--------	---------	---------	-----	----	-------------	------	-------	-------

#### 【共学校】

誠和福祉高校	総合学科	1学年2クラス	生徒数	男子	18人	女子	129人（主な保育系科目	保育基礎	保育実践等	10単位）
滑川総合高校	総合学科	1学年7クラス	生徒数	男子	374人	女子	437人（主な保育系科目	保育基礎	保育実践等	6単位）
秩父農工科学高校	ライフデザイン科	1学年1クラス	生徒数	男子	1人	女子	105人（主な保育系科目	保育基礎	保育実践等	4単位）
寄居城北高校	総合学科	1学年5クラス	生徒数	男子	203人	女子	347人（主な保育系科目	保育基礎	保育実践	4単位）



## 2 他県調査

目的 埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告への対応を検討する際の参考とするため

対象 宮城県、秋田県、福島県、栃木県、群馬県、千葉県（勧告書に記載のある6県）

概要 平成14年度から令和5年度までの男女共学化の状況を調査

	平成13年度 県立高校 学校数			単独での共学化		複数校を統合して新校を共学化		令和5年度 県立高校 学校数		
	男女別学校		全県立 高校数	男子校を 男女共学化	女子校を 男女共学化	男子校と女子校 (一部男女共学校を含む)	男子校と男女共学校 又は 女子校と男女共学校	男女別学校		全県立 高校数
	男子校	女子校						男子校	女子校	
宮城	22		81	6	5	男子校5、女子校5、 男女共学校1 5	0	0		66
	11	11						0	0	
秋田	7		52	0	3	0	女子校4、男女共学校5 4	0		43
	0	7						0	0	
福島	7		85	3	4	0	0	0		77
	3	4						0	0	
栃木	19		69	3	3	男子校2、女子校2 2	女子校1、男女共学校1 1	8		60
	9	10						4	4	
群馬	23		67	0	2	男子校3、女子校3 3	女子校3、男女共学校3 3	12		59
	9	14						6	6	
千葉	13		142	0	6	0	女子校5、男女共学校5 5	2		121
	0	13						0	2	

令和5年度学校数は、男女共学化に伴う統廃合以外の要因による変動を含む。

# 宮城県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

県の重要施策として男女共同参画社会を推進。  
 (平成13年宮城県男女共同参画推進条例が施行)

### 【男女共学化を行う際の手続等】

生徒・保護者・一般県民へのアンケート  
 仙台二高共学化調整会議を設置

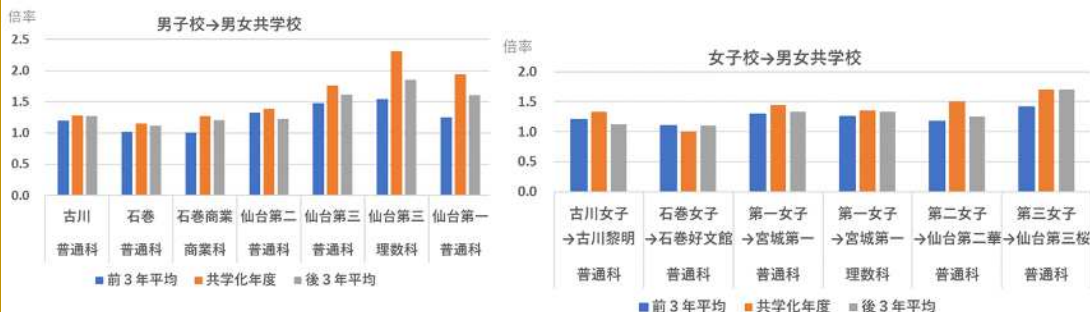
### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

「県立高校将来構想」(平成13年4月～平成22年3月)において男女共学化を推進

<男女共学化の推進についての基本方針>

男女別学校については、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、全て男女共学化を推進します。

## 入試倍率の変化



### 【男女共学化への評価】

- ・ 運動会や合唱コンクールなどで、男女が協力し合って行事に取り組んでいる。応援練習は伝統を継承し工夫しており、実践での応援活動も盛り上がっている。
- ・ 男女が様々な価値観に触発され、進路希望が多様化し進路範囲に広がりが出た。
- ・ 入学の機会均等が図られる。学校の選択の幅が広がる。(特に郡部)
- ・ 少子化において学校の教育力を維持する。
- ・ リーダーシップを発揮する生徒が増加し、積極的で活発な発言がみられる。
- ・ 男女が気遣い、授業態度が落ち着いている。地道に努力する女子の学習態度が男子に良い影響を与えている。
- ・ 互いに励まし、目標に向かって活発に活動している。男女の合同練習が成果を上げている。
- ・ 生徒会が明るく行動的になった。
- ・ 男女ともに落ち着いた生活態度であり良好
- ・ 異性間のトラブルが生じる。
- ・ 異性の目が気になり落ち着かない。
- ・ 敷地が狭い旧女子校を中心に部活動の制約
- ・ 施設改修・改築が必要

### 【現在の男女比率】

<男子校 男女共学校(1学年)>

<女子校 男女共学校(1学年)>



### 【女子校の名称】

男子校は校名変更なし。女子校は変更。

# 秋田県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

- ・ 「第五次秋田県高等学校総合整備計画」に基づき共学化。

### 【男女共学化を行う際の手続等】

- ・ 外部委員会を設置し、今後の統合等再編整備に関する方向性や、女子校の在り方などについて、提言を頂いた。

### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

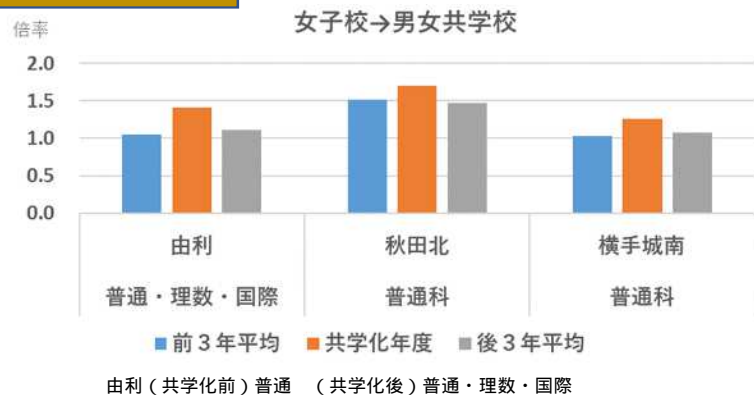
<第五次秋田県高等学校総合整備計画>

共学化は、各学校や地域の実情等を考慮して推進する方向で個々に検討する。この場合に、単に男女募集とするのではなく、これまでの伝統を生かしつつ、全く新しい構想に基づいた教育内容を盛り込み、地域の先進的な役割を担う学校づくりをする。

地域によっては、普通課程と職業課程とを併置する総合制高等学校として、統合等も検討していく必要がある。

すべての女子校において、平成22年度までには共学化への具体的なスケジュールを策定する。

## 入試倍率の変化

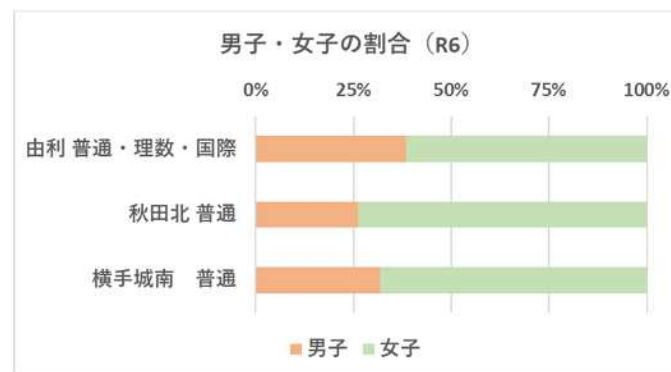


### 【男女共学化への評価】

- ・ 男女が協力し切磋琢磨しながら勉学や各種教育活動に取り組み、相互理解を深め、互いを尊重することにつながっている。
- ・ 普通科だけでなく、専門学科には多くのコースを設置することで、生徒の進路希望に応じて様々な学部への進学や就職にも対応することができている。

### 【現在の男女比率】

<女子校 男女共学校 (全学年)>



### 【女子校の名称】

- ・ 女子校7校中3校は校名変更がなかった。

# 福島県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

- 平成3年に「学校教育審議会」へ諮問。「生徒減少期における高等学校教育の在り方について-高等学校の質的向上を目指して-」の中で「男女共学の在り方について」諮問。平成5年の学校教育審議会答申と、平成6年に福島県が策定した「ふくしま新世紀女性プラン」に基づき、平成6年から平成15年までの期間に全ての県立高校において男女共学化を図った。

### 【男女共学化を行う際の手続等】

- 有識者で構成する「学校教育審議会」に平成3年に諮問し、平成5年の答申を受け、策定した県立高等学校改革計画第一次まとめに基づき、男女共学化を進めてきた。

### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

< 県立高等学校改革計画第一次まとめ >

#### 1 共学化のねらい

21世紀において福島県が創造的で活力ある社会であるためには、地域づくりをはじめ、あらゆる分野で男女が共に参画し、それぞれが持てる能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を築いていくことが必要である。そのためには伝統的な性別役割分担意識にとらわれることなく、女性の社会参加と男性の家庭や地域への参加を促し、男女があらゆる分野で協力し合う生き方が求められる。

青年期の生徒一人一人にとって高校時代は、様々な体験をとおして人間の在り方や生き方を学び、社会性を身に付けながら自己を確立していく時期である。この時期に男女が共に学び、それぞれの個性を生かした役割を担って協力し、互いに人格を尊重し合いながら充実した学校生活を送る体験は、将来、男女共同参画社会を築いていくうえで大きな意味がある。

そこで、本県が策定した「ふくしま新世紀女性プラン」、さらには平成5年の学校教育審議会答申に基づき、県立高等学校の男女共学化を推進する。

#### 2 共学化の方針

平成15年度をめどに、すべての県立高等学校を、逐次、男女共学化にする。

共学化にともない諸課題の解決を図るとともに、必要となる施設・設備等の整備を行う。

### 【男女共学化への評価】

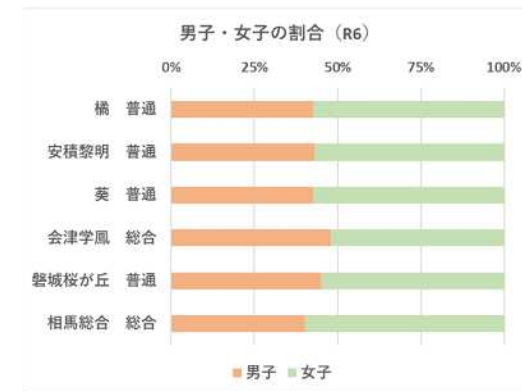
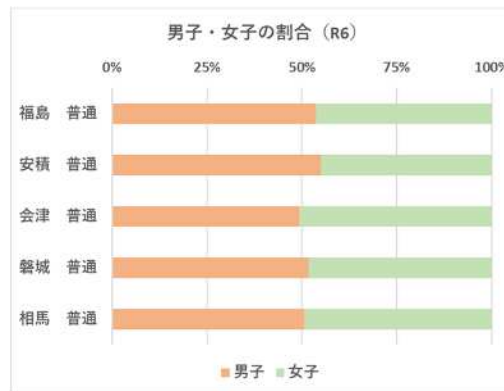
(県立高等学校改革基本計画(2019年度~2028年度)より)

- 男女共学化した各学校では、学校行事等において男女が競い合って努力する姿が見られた他、学習活動、生徒会活動、部活動等が活性化した。
- 進路意識の面でも変化が見られ、国公立大学を中心として大学進学等の進路実績も向上した。特に女子においては、全国的な傾向と同様に、大学進学率の向上は顕著である。(特色ある学校・学科の配置における【成果】として記載)
- 学校の新設や共学化、特色ある学科の設置によって、生徒の適性や進路希望に応じた多様な高校や学科の選択が可能になった。

### 【現在の男女比率】

< 男子校 男女共学校(全学年) >

< 女子校 男女共学校(全学年) >



### 【女子校の名称】

- 男子校は校名変更なし。女子校は変更。

# 栃木県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

- ・ 第一期県立高等学校再編計画(H 1 7 ~ H 2 6)及び第二期県立高等学校再編計画(H 3 0 ~ R 4)に基づき実施した。

### 【男女共学化を行う際の手続等】

- ・ 県内市町村立中学校2年生とその保護者、県立高校2年生とその保護者、一般県民にアンケートを実施し参考とした。

### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

< 第二期県立高等学校再編計画 >

男女別学校の共学化

男女別学校の共学化については、各高校や地域の実情等に応じて行います。

基本的な考え方

ア 共学化については、共学校と別学校の共存を望む県民世論にも配慮しながら、各高校や地域の実情等に応じて行います。

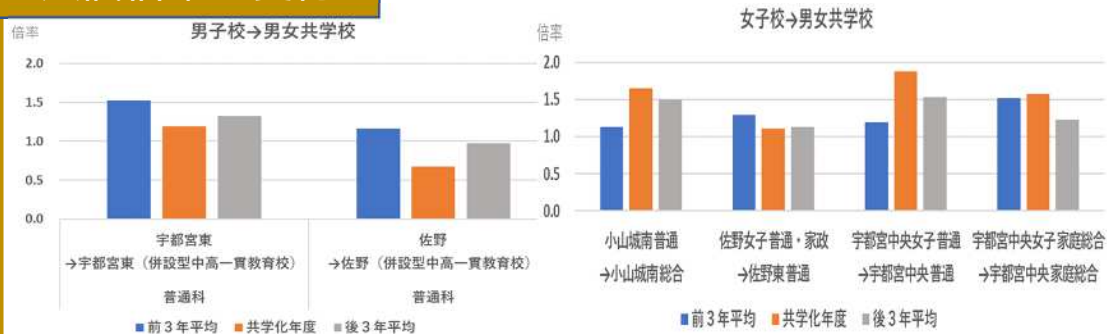
イ 共学化に当たっては、それぞれの学校が培ってきた特色や教育の成果をできるだけ引き継ぎながら、教育内容の充実を図ります。また、新たな教育内容・方法等を積極的に導入し、より一層、魅力ある学校づくりに努めます。

推進計画

ア 別学校の規模が小さくなることにより活力の低下が懸念される場合は、統合によって適正規模を確保するとともに、共学化します。

イ 男女別募集定員に片寄りのある地区については、共学化を行います。

## 入試倍率の変化



### 【男女共学化への評価】

#### 宇都宮中央女子高校（男女共学 宇都宮中央高校へ）の場合

- ・ 男女共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入
- ・ 野球部など男子部活動を新設
- ・ 校章は継続して使用、女子制服は特徴を継承
- ・ 男女共学化に伴い、トイレ、体育館、グラウンド、部室棟などを整備
- ・ 単位制の導入に伴い、選択科目や少人数授業等に対応できる講義室などを整備

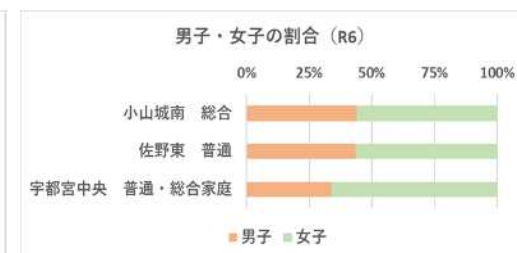
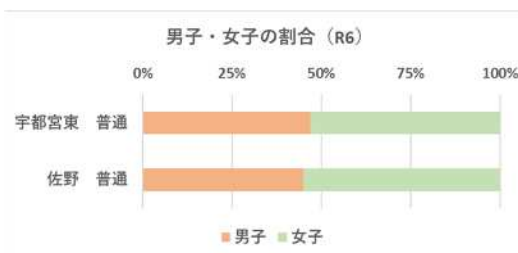
#### 足利・足利女子高校（男女共学 足利高校へ）の場合

- ・ 統合共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入
- ・ 制服は旧校の特徴を継承（新校設立準備委員会において検討）
- ・ 新校舎を整備（建設中）

### 【現在の男女比率】

< 男子校 男女共学校（1学年） >

< 女子校 男女共学校（1学年） >



### 【女子校の名称】

- ・ 単独での男女共学化である小山城南のみ校名はそのまま。

# 群馬県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

- 「21世紀に求められる群馬の高校教育」（平成13年9月:群馬県学校教育改革推進計画策定委員会）

男女共学化の推進を図っていくことが時宜を得ている。

すべての男女別学校を一律に共学化することには多くの課題があり、各学校が今までに築いてきた教育実績や校風に配慮しつつ検討していく。

- 以降、高校教育改革基本方針、群馬県教育振興基本計画等にのっとり実施

### 【男女共学化を行う際の手続等】

- 男女別学校の統合の際は、学校職員及び県教育委員会事務局職員からなる「新高校開設準備会」において、開校準備を進めてきた。

### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

<第2期高校教育改革推進計画>

#### 6 男女共学の推進

基本的な考え方

男女が共に学ぶことの意義や、性差による制限のない学校選択の保障という観点に加え、性同一性障害や性的指向・性自認に係る生徒への対応の必要性などからも、男女共学化を推進していく必要があります。「群馬県男女共同参画基本計画」を踏まえ、県民の理解を得ながら、今後の高校教育改革の中で、男女共学化を推進します。

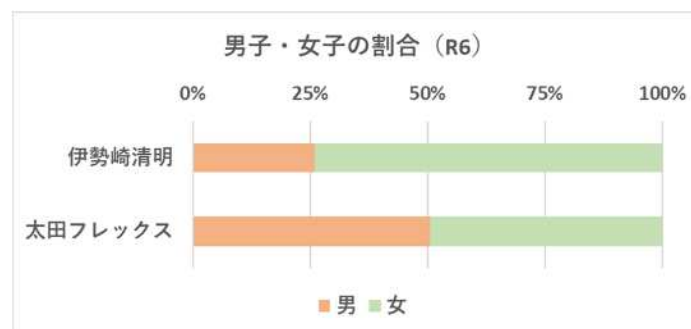


### 【男女共学化への評価】

- 地域や関係者の理解を得ながらの推進。

### 【現在の男女比率】

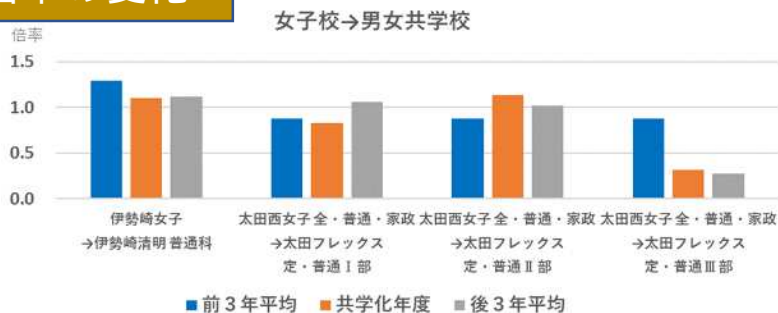
<女子校 男女共学校（1学年）>



### 【女子校の名称】

- 女子校は校名変更あり。

## 入試倍率の変化



# 千葉県

## 男女共学化の状況

### 【男女共学化をすることとなった経緯】

- 「県立高等学校再編計画（平成14年11月策定）」において、「男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を男女共学化する。」との方針を示した。

### 【男女共学化を行う際の手続等】

- 意見聴取、アンケート等は行っていない。

### 【「再編整備計画」への「男女共学化」の記載】

＜県立高等学校再編計画（平成14年11月策定）＞

女子校の共学化

男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を共学化する。

具体的内容

共学化により、普通系学科比率の低い地域において、男子生徒の学校選択肢の拡大を図り、さらに、学校の活性化と魅力ある高等学校づくりを推進する。

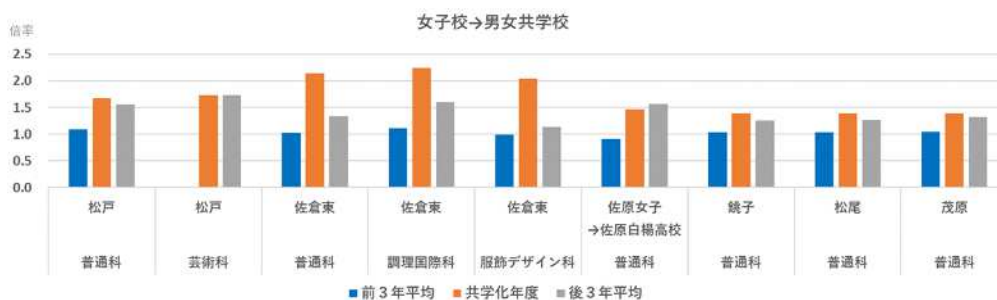
女子校13校のうち11校程度を共学化し、残る2校程度については、女子校に進学を希望する生徒に配慮し、学区を県内全域とするなどして存続する。なお、今後の志願者の動向等によっては、必要に応じて共学化を行う。

共学化に当たっては、必要に応じて学校の統合あるいは学科再構成を行い、一部の学校は単位制への転換を行う。

これまでの女子校としての成果を十分踏まえるとともに、選択幅の広い教育課程の編成や多様な学習活動を展開する。

共学化に当たっては、既設の施設設備を活用しつつ必要な整備を行うが、校地の拡張は原則として行わないものとする。

## 入試倍率の変化

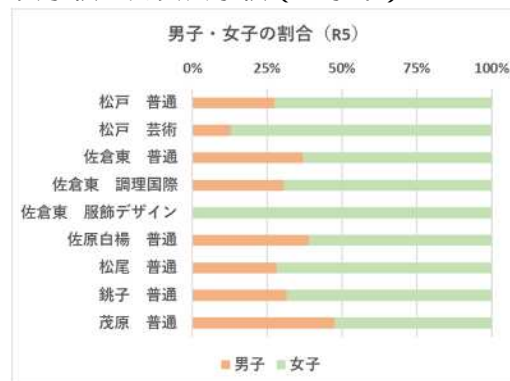


### 【男女共学化への評価】

- 男女共学化は男女の自然な交流ができ望ましい姿であり、実施した多くの学校で志願確定倍率・大学進学率などの向上、生活指導面での改善、部活動の充実、学校行事の活性化等が見られる。  
特に学校数の少ない地域においての男女共学化は、男子生徒の学校選択幅の拡大、学校配置の適正化の推進等、総じて地域のニーズに的確に対応したものである。
- 男子生徒の比率が30%以下の学校もあることから、男子生徒が更に魅力を感じる学校づくりに努める必要がある。

### 【現在の男女比率】

＜女子校 男女共学校（全学年）＞



### 【女子校の名前】

- 校名に女子と入っていた佐原女子高校のみ校名を変更。